

事業概略書

事業名	クラブハウスモデルによる精神障害者の自助活動実践と地域活動支援センターにおけるピアサポート活動の比較研究
事業目的	<p>今日、精神に障がいのある人の自分らしく安心して暮らすために、総合的で包括的な福祉サービスが求められています。社会の構成員として、参加・参画する願いと夢をもつ人（本人主導）の回復の道（リカバリー指向）を、安心して自由に選んで、自信を持って（エンパワメント）歩むことができることです。そのために、本人の視点や経験を重視した支え学び合う相互支援の方法「ピアサポート」や相互支援のシステム「クラブハウス」の支援が大切です（2003年精神保健福祉対策本部）。全国各地の取り組みでは、人員確保や運営基盤等の支援力確保が課題になっています。そこで、活動の実態を明らかにして、支援施策の充実に理解を求めることにしました。</p>
事業概要	<p>ピアサポートの郵送調査とクラブハウスモデルの訪問面接調査を実施して、その成果を地域での報告会の開催や広報用のパンフレットを作成して評価と理解を求めるとしました。</p> <p>①ピアサポートでは、「全国自治体の育成事業の実施状況」を、「地域活動支援センターの活動実施状況（内容と育成、運営方法）」に加え「クラブハウスモデルの認知度及びクラブハウスモデルとの共通点」を郵送調査。</p> <p>②クラブハウスモデルの実施状況に関する訪問面接調査では、当事者と支援者の調査チームを編成して世界クラブハウス連盟運営規約を評価基準として調査表を作成、世界クラブハウス連盟認定のクラブハウスを含め先駆的事业所を選定して訪問面接調査を実施しました。</p> <p>③広報パンフレット作成配布と地域における報告会開催は、当事者を中心とした調査協力員によるものです。「産学公民協働の相互エンパワメント」をテーマにした報告会では、課題の共有とともに包括型地域生活支援体制づくりへの理解と協力を求めました。</p>
事業実施結果及び効果	<p>地域の実情に即して多様な支援形態と司法や教育にも広がる領域の中で、重要な地域支援資源としての実態を確認しました。クラブハウスを包括型地域生活支援体制の「相互支援のシステム」、地域活動支援センターのピアサポートを「相互支援の方法」として整理できました。二つの事業は、当事者の経験を強み（ストレンクス）にして、相互信頼（パートナーシップ）を築き、回復（リカバリー）の道を楽しく歩むことを共通にしたものでした。このことから「リカバリー（回復）指向のエンパワメント支援事業活動」を実証するものでした。「支援力確保」の課題を踏まえた報告会は、パートナーシップ重視のテーマ「産学公民協働の相互エンパワメント」そのままに、多くの友好的で積極的な協力姿勢の参加者に評価を戴きました。当事者自らの権利擁護活動としても、二つの事業が果たす役割が期待できます。</p>
事業主体	<p>〒174-0072 東京都板橋区南常盤台 2-1-7 社会福祉法人 JHC 板橋会 クラブハウス サン・マリーナ TEL : 03-5399-4801 E-MAIL : marina@jhcitabashi.or.jp</p>